

村上市上下水道事業審議会 議事録（要約版）

会議名	第3期 第5回村上市上下水道事業審議会
年月日	令和6年6月19日（水） 13:30～15:00
会場	村上市役所神林支所 3階 大会議室
出席委員	大串葉子、鷺見英司、加藤明、梅田久子、酒井航、瀬賀秀雄、山貝有紀子【委員7名】
欠席委員	遠藤誠作【委員1名】
事務局	<p>上下水道課 課長 稲垣秀和</p> <p>経営企画室 室長 林奈美、副参事 本間かおり、副参事 石井美勝</p> <p>主事 大嶋上総、主事 小野夏音</p> <p>業務室 室長 齋藤健一、副参事 大矢純</p> <p>工事管理室 室長 渡邊貴志、課長補佐 伊藤孝雄</p> <p>係長 小田和彦</p> <p>【事務局11人】</p>
傍聴者	3名
次第	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 諮問</p> <p>4 議事</p> <p>（1）上下水道料金の改定について</p> <p>（2）今後の上下水道事業審議会日程について</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>
事務局	<p><b>1 開会</b></p> <p>&lt;本日の審議会の成立について&gt;</p> <p>委員総数8名のところ、7名の出席により村上市上下水道事業審議会条例第6条第2項の規定に基づき、本日の会議は成立することを報告する。</p> <p><b>2 挨拶</b></p> <p>&lt;副市長あいさつ&gt;</p> <p><b>3 諮問</b></p> <p>&lt;諮問書の手交&gt;</p>

	<p><b>4 議事</b></p> <p><b>(1) 上下水道料金の改定について</b></p>
事務局	<p>&lt;「上下水道料金の改定について」説明…資料1・2&gt;</p>
会 長	<p>基本方針に従うと、料金のあり方というのは現行と同じような収入構成になるということか。</p> <p>下水道は使用料改定なしの場合に比べて、維持管理が賄える水準まで改定したとしても、料金が千円以上上がるのに対して、繰入見込み額がたったの30億の減というのは、なかなか厳しい内容というのが分かる。いずれのパターンでも厳しい数字だと思う。</p>
副会長	<p>自己資金残高4億円の確保というのは、最終的に4億円を維持していくために、2.5億円、つまり年間5千万ほど積んでおかないと、4億円を維持できないという試算になっているということか。</p>
事務局	<p>料金収入の約2分の1は、災害対応等、不測の事態に備えて確保するため4億円をキープしてきた。しかし令和4年度に1億円の基金を取り崩して以降、積立をしていない状況である。このまま積立を崩していくと、財源不足の状況になるため、最低限4億円は持っておきたいというところ。そのために、単年度5千万円、5年間で2億5千万円を設定している。</p>
副会長	<p>この設定でいくと4億円をかなり上回るが、あくまでも最低ラインが4億円ということではよろしいか。</p>
事務局	<p>4億を超えた積立をしてまで、料金改定が本当に必要なのかということも議論が必要になってくる。大雨災害の4年度は積立金が無ければやっていけない状況だった。資金を確保するために、どの水準まで必要かシミュレーションを示していきたい。</p>
副会長	<p>経営の健全化ということに関して、料金収入の半分を持っておくということは非常に重要なこと。どこかでしっかりと積み立てておかなければならない。</p>
委 員	<p>次回の審議会では、ストックマネジメント計画等に基づいて、いつ、どのくらい改修が必要で、そのためのお金がいくら必要かというのは示されるのか。</p>
事務局	<p>上水道事業、簡易水道事業、下水道事業全てそのつもりで今策定している。</p>

委員	<p>いつ、どのくらいのお金がかかるのかを見越したうえで、全てを料金体系に入れ込むとなると、かなり料金を膨らませないと賄えないという結論が容易に見込まれる。今回の料金改定にどこまでを反映させるのかということも議論の対象ということによるしいか。</p>
事務局	<p>今後、施設改修や改築更新といった予定は示していく予定。今現在の方針としては、下水道事業は維持管理費の回収を想定しているが、その他改築更新等含めるかどうか今後議論していきたい。</p>
委員	<p>収入を増やすという一方で、支出をいかに減らせるかも大切。合理化や施設統合などどうしていくか議論が必要。</p> <p>温泉排水の50円がどういう経緯で決められたのか、改定の検討をしていく中で議論を深めていかなければならない。</p>
事務局	<p>市としてこれまでも、人員削減等に取り組んできた。今後も施設の統合や個別処理への転換等、計画していきたいと考えている。</p>
委員	<p>人口が減少している中で、村上市は観光都市ですので人を呼ぶこむための努力も市として取り組んでいただきたい。使用料が減ることは当然のことであり、目に見えて分かることなので、是非大勢の市民へ話し合いの場を作るなど、意識づけをすることも大切。</p>
委員	<p>前回までの審議会でも下水道事業は、施設の統廃合は避けては通れないと強い意見があったが、今回の資料の中ではそれが見えてこないもので、再度示していただきたい。また、人口減少についても市全体で取り組んでいただきたい。</p>
会長	<p>上下水道の料金設定は、市民が払える範囲かどうかも大切。技術革新により、一定程度のコストを下げることは可能だと思うが、質をこれくらい落とすと、料金もこれくらい下げられるといった合意形成に必要な情報は示していただきたい。今と同じ品質、システムで供給すれば赤字が膨らんでいくことになり、それを許容してもらうために話し合いも必要。今このくらい値上げをしておけば、この先何年は大丈夫等の見通しや、選択肢を含めて、市民の皆様を知っていただき、納得していただくための知恵出しが大事なところになってくる。</p>
副会長	<p>この資料にある通り、現状維持でもこれだけの赤字が出ているので、人口構造に合わせた上下水道施設の在り方をしっかりと議論していきたい。</p>

事務局	<p>(2) 今後の上下水道審議会日程について ＜今後の上下水道事業審議会日程について 説明…資料3＞ (特に意見はなかった。)</p> <p>5 その他 ＜事務局から事務連絡＞</p> <p>6 閉会 〈副会長あいさつ〉</p>
副会長	<p>市民の皆様の生活に直結する水道料金と下水道料金について、答申に向けてより良いものができるよう、今後真剣に審議をしていきたいと思っている。</p>